

BORDERLESS IR CO., LTD

ANNOUNCES NEWSLETTER

KCR 総研が株式会社ダイキアクシス(4245 東証プライム)の最新アナリストレポートを発行

2023年6月26日東京

2023年12月期第1四半期は減収減益も主力の環境機器関連事業が増収増益。第2回新株予約権消却で潜在株式需給関係改善。引き続き、インド等海外事業及び再生可能エネルギー事業に注力。

レポート概要

○ダイキアクシスグループは、環境機器関連事業、住宅機器関連事業、再生可能エネルギー関連事業等を行っている。環境機器関連事業は、浄化槽をはじめとする各種水処理設備の製造・施工・販売および維持管理を主力とし、生活排水処理・産業排水処理・地域集落排水処理の各用途に分類された製品を取扱っている。また合成樹脂製・コンクリート製など、多岐用途に対応可能で各処理水質に応じた最適な排水処理設備を提供するとともに、集落のし尿・生活雑排水の処理については地域の環境に合わせた設計・施工を行い、アジア地域を中心とした海外にも事業を展開、各国に販売代理店網を構築して拡販するとともに需要の高い地域では現地生産に切り替えることで機動的かつ効率的に対応している。維持管理は、グループで販売・施工を行った施設のほか、他社製のものについてもメンテナンスを行っており、24時間監視体制やスポット対応など顧客のニーズに合わせたメンテナンス体制を整え、専属部門がこれにあたっている。長期的に顧客と接点を持つことにより、維持管理を通じて得た情報を次期製品の開発および営業活動につなげるなど、事業全体を通じた各種水処理に係るトータルサービスを提供している。住宅機器関連事業は、住宅関連商材および教育関連施設商材の販売ならびに内外装工事を主力としている。再生可能エネルギー関連事業は、再生可能エネルギーの分野として、太陽光発電および小形風力発電に係る売電事業、小形風力発電機関連事業およびバイオディーゼル燃料事業、水熱処理事業を行っており、クリーンなエネルギーによる環境負荷低減をコンセプトとして事業拡大を図るとともに、ポストFITを見越した高付加価値事業を提案している。その他の事業としてボトルウォーターの製造宅配や水道直結型の浄水器を取り扱う家庭用飲料水事業を展開している。

○当第1四半期連結累計期間の同社グループを取り巻く経営環境は、想定以上に長引いた新型コロナウイルス感染症によって生じた輸送費の高騰などの影響は回復に向かう一方、国際情勢の大きな混乱による電力等のエネルギー価格や原材料等の高騰によって依然として景気の先行きは不透明な状況で推移している。このような状況下、2025年度を最終年度とする中期経営計画「PROTECT x CHANGE」を推進することで企業価値向上を図っている。具体的には、環境機器関連事業セグメントにおいては、インド等海外における事業展開の推進、ストックビジネスとし

でのメンテナンス事業及び上水エスコ事業の拡大、住宅機器関連事業セグメントにおいては、環境対応や居住性に優れた新商材の発掘等、安定事業から成長事業へ転化、再生可能エネルギー関連事業セグメントにおいては、循環型社会の実現と安定収益確保の強化、ポスト FIT を見据えた高付加価値事業・商材の発掘を行い、全社では、IT 戦略を実現するための組織強化、生産性向上ツールとして IT を利活用していくとしている。

○当第 1 四半期連結累計期間の売上高は 107 億 70 百万円（前年同期比-2.3%）及び売上総利益は 21 億 93 百万円（前年同期比+2.2%）、営業利益は 2 億 37 万円（前年同期比-47.8%）、経常利益は 2 億 50 百万円（前年同期比-53.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1 億 4 百万円（前年同期比-70.4%）となった。当第 1 四半期は、人的資本への投資、組織の基盤強化に伴う各種施策、海外事業への投資、M&A による成長分野への投資、コーポレート・ガバナンスの見直しなどにより販管費は大幅増となった。なおスタンダード市場への選択申請を東証へ提出したほか、第三者割当てによる第 2 回新株予約権（行使価額修正条項及び行使許可条項付）の取得及び消却を完了している。

○環境機器関連事業は、浄化槽・排水処理システムの国内売上高は、設備投資需要の回復によって修繕工事の受注が大きく、前年四半期と比較して増加。海外売上高は中国における産業排水処理施設の大型案件の完成、インドにおける事業の堅調などの増加要因はあるが、前年同期のイラクにおける JICA 支援プロジェクトへの浄化槽等の納入と同等の案件はなく全体としては減少。ストックビジネスであるメンテナンス売上は、契約の拡大を推進しており、堅調に推移している。地下水飲料化事業においては、ストックビジネスであるエスコ契約に係る売上高は新規契約によって増加。エスコ契約を行わない地下水飲料化装置の販売も顧客ニーズの高まりにより売上が増加。

住宅機器関連事業は、建設関連業者等売上は、メーカーの海外部品調達に起因する商品の出荷制限等の影響は解消、ホテル、老健施設等における設備投資需要の回復によって建築関連業者の水回り商品を中心とした販売については増加している。ホームセンターの照明更新工事案件、教育関連施設の案件が売上は減少。ホームセンター向けリテール商材の販売は、前年同四半期と比較して増加した。住機部門工事は、外壁工事の大型案件及び冷凍冷蔵・空調設備工事の売上が好調だったが、前第 1 四半期連結累計期間に売上計上していたホームセンター事業を展開している DCM グループの店舗建築工事がなかった。空調設備工事の原価回収基準を適用している大型案件が当第 1 四半期連結会計期間末において施行中で、当該工事は引き渡し完了まで売上と原価が同額で計上されるため、セグメント利益率が低下している。

再生可能エネルギー関連事業は、太陽光発電事業では、2021 年 10 月に買収した株式会社サンエイエコホームの影響により前第 1 四半期連結累計期間における売上高は大きく増加したが、同社は従来、固定価格買取制度（FIT）を利用した売電事業だけではなく発電施設の販売も行っていたが、買収後も買収前に契約した案件についての売上が計上されていたことにより、前年同四半期と比較した売上高は減少。小型風力発電事業は、前第 1 四半期連結累計期間に、他 3 社と共同参画している環境省の「CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」の売上を計上していたため、前年同四半期比減少。FIT を利用した小型風力発電に係る売電施設について現在 18 サ

イトが稼働しており、2025年までに総数70サイトの稼働を計画している。バイオディーゼル燃料関連事業は、バイオディーゼル燃料を5%混合することで軽油と同様に利用することができる「B5軽油」の営業強化に取り組み、契約件数は堅調に増加。同事業は前年同期に比べ売上高は増加。水熱処理事業は、新技術確立に向けた研究開発を行っている。

アナリストレポート（Borderless IR 発行）を見るにはこちらをご覧ください。

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03821/d053d0cc/c0de/48a3/be50/e8ba970ab552/20230621151925831s.pdf>

株式会社ダイキアキス（4245 東証 プライム）については、こちらをご参照ください。

<http://www.daiki-axis.com/>

レポートの免責条項

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、Borderless IR がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はBIRにあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任をおいかねますことをご了承願います。

レポート・リリースに関する照会先

Borderless IR 株式会社 <http://b-ir.co.jp/japanese/main.php>

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

T E L 03-4588-6706 担当：福田 徹

お問い合わせ <http://b-ir.co.jp/japanese/contact.php>

Borderless IR は、国内・海外向け I R 情報配信専門の会社です。国内・世界有数のメディア、企業情報データベース、メーリングリスト等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な強みを主としてニューズレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外 I R 支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。